

連載「画像からくり」より 新宿東口の3D猫と渋谷の秋田犬 ～だまし絵とLED表示技術～

1820年代の最初の写真記録は、銅版画をフォトレジスト感材に密着露光し、白黒2値の画像を得るものでしたが、その後豊かな階調を再現する技術に発展しました。LEDによる看板の表示も電光掲示板の置き換えに始まり、フルカラーの3Dに見える表示にまで発展しました。新宿東口に出現し巨大3D猫と渋谷の秋田犬にみるだまし絵の表現と、それを支えるLED表示の技術について解説します。



【開催日】2022年10月12日(水)
15:50～17:20 (ディスカッション終了次第)
ープログラムー

15:50 入場開始
16:00- 16:50 講演と質疑応答
桑山哲郎 (日本写真学会フェロー)
16:50 ～フリーディスカッション
※参加者記念撮影を予定しています。

【方式】オンライン

【参加資格】日本写真学会会員と学生限定
■非会員の方：参加申込前に入会手続きを取って頂ければ、会員資格での参加が可能となります。入会申込はこちらから
⇒ <https://forms.gle/nYmhzmgFxEsWaoG8>

【参加登録】写真学会ホームページ⇒
<https://www.spj.jp/> の第43回写真好き講演会の参加登録GoogleFormから登録をお願いします。

【定員】50名(多数の場合お断りすることがあります)

【申込締切】2022年10月5日

定例講演会実行委員会 実行委員長：小林裕幸
(千葉大学名誉教授)，委員：鈴木博文(ニコソ)、鈴木敬子(神奈川県立美術館)、西垣仁美(日本大学)、松澤良紀(オリンパス)、山田勝実(東京工芸大学)、大木博、森田晃
幹事：桑山哲郎 事務局：山岸治(日本写真学会)